



メタクリル酸グリシジルの生産能力増強について

 三菱ガス化学株式会社

2016年4月25日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨 以下、当社）は、新潟工場（所在地：新潟県新潟市）において、自動車向けトップコート塗料の原料等として使用されるメタクリル酸グリシジル（GMA）の生産能力を増強いたします。

主用途である自動車向けトップコートには、従来、アクリル-メラミン系塗料が主に使われておりましたが、1990年代以降、耐酸性雨性や耐擦り傷性を有する塗料として、GMAを原料に使用する酸-エポキシ系塗料の採用が拡大しました。今後も自動車向けトップコートは、世界の自動車生産台数増加に合わせた成長が見込まれております。

当社は、1979年以降、新潟工場においてGMAの事業を拡大させてきましたが、同製品の用途は自動車向け塗料のみならず、エンブラ改質剤、接着剤、その他塗料などにも利用され、高い評価をいただいております。今般、生産能力を下記のとおり増強することにより、今後増加が見込まれる需要に対応していきます。

記

	現行		増強後
生産能力	3,400T/Y	→	6,800T/Y
スケジュール	2017年1月着工 2017年9月完工（予定）		

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
広報IR部 TEL：03-3283-5041